



うみ こ

2020湖っ子食育大賞



大賞は、長浜市立速水小学校に決定！

滋賀県教育委員会では、児童生徒が正しい食事のとり方や望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校を中心に家庭・地域とも連携した食育を推進しています。

平成19年度に学校や園の特色を生かした優秀な食育の取組を表彰する「湖っ子食育大賞」が創設され、令和2年度は14年目となり、県内の学校・園から10校園の応募がありました。審査の結果、大賞は長浜市立速水小学校に決定しました。

～受賞校の概要～

大賞

長浜市立速水小学校

「主体的に望ましい食生活を送ることができる児童の育成をめざして」をテーマに、食に関する指導全体計画等を見直しながら、食に関する学習活動を積極的に展開されています。臨時休業中の食についての情報発信や学校再開後、給食時間に ICT を活用した食に関する指導など、新しい生活様式を見据え柔軟かつ迅速に食育推進体制を整え取り組まれました。毎月の「食育の日」には、学級担任が朝学習の時間に栄養教諭が作成した資料を説明されています。その他、新型コロナウイルス感染症の予防対策を行いながら、児童主体で楽しい食事時間を過ごせる工夫を進められたり、「食育通信」や「食育ファイル」によって家庭との連携を図ったりするなど、多方面から食育を推進されています。



楽しい給食時間になるようビデオ放送の作成をする委員会活動の様子



学級担任と栄養教諭による食に関する指導の様子



食育掲示板を活用した情報発信。給食週間に各クラスで考えた「めあて」の掲示の様子

優秀賞

野洲市立北野幼稚園

コロナ禍における食育活動について、従来からの野菜栽培や収穫体験、調理など体験活動を重視した食育に、アンケートによる保護者の意見を取り入れ、より実現可能な取組へと積み上げられました。収穫した野菜を持ち帰り、家庭の食卓で味わう新しい取り組みは、これまで園の中で完結していた食育活動が家庭につながっています。コロナ禍で多くの制約がある中、さまざまな工夫をした活動をされました。

甲賀市立多羅尾小学校

「生産者とのふれあいを持ち、地場産物を活用した調理体験などの食育の取組」をテーマに実施されました。

地域の方から「朴ほおの葉」を使ったもち、畑で育てた「こんにゃくいも」から作るこんにゃく、田んぼで育てた「米」から作る味噌を教わり、一緒に調理するなど学区全体で栽培から加工までの流れの経験ができる食育を推進されています。この地域活動は30年間以上継続されている取り組みです。

日野町立桜谷小学校

「健康で生き生きとした生活を送り、豊かな心を育成する食育指導を目指して」をテーマに取り組みされました。毎学期始めの「けんこう週間」や毎月の「自分にチャレンジ週間」等の取組、家庭・地域との連携による栽培活動、栄養教諭と担任等による食育指導、地域の方々に感謝の気持ちを伝える「森のレストラン」の開催が継続して実施されています。児童会活動では、「健康ウォークラリー」や「豆つまみ大会」など児童による企画・運営が行われました。

日野町立南比都佐小学校

「ふるさとに誇りを持ち、栽培から調理体験までを通して食の大切さを感じる食育の取り組み」をテーマに取り組みされました。児童自らが栽培した地域の伝統野菜「日野菜」を加工するだけでなく、日野菜をテーマに比較栽培や栽培実験などの探究活動、新メニューの開発、地元のスーパー等に広告の掲示、給食室から出る生ごみからできた肥料を日野菜の栽培に使用するなど、資源問題や流通といった食に関する取り組みへと広げておられます。

食育大賞および優秀賞を受賞されました5校には、記念品としてお祝いの「焼き海苔」をイメージして作られた信楽焼の盾を贈呈しました。

〈湖っ子食育大賞 支援・協力〉

公益財団法人 滋賀県学校給食会(副賞・表彰記念品制作)

県立信楽高等学校(表彰記念品制作)

